



2021年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月4日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
 コード番号 3657 URL <https://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2020年9月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	12,399	0.0	1,276	20.8	1,474	4.4	903	5.3
2020年1月期第2四半期	12,402	5.7	1,612	9.3	1,542	7.7	954	13.7

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 592百万円 (35.3%) 2020年1月期第2四半期 915百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	23.88	23.86
2020年1月期第2四半期	25.23	25.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	18,759	14,461	76.8
2020年1月期	17,763	14,320	80.1

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 14,409百万円 2020年1月期 14,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		12.00	12.00
2021年1月期		0.00			
2021年1月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,744	10.0	3,587	1.6	3,576	2.9	2,341	30.9	61.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期2Q	38,124,000 株	2020年1月期	38,120,800 株
期末自己株式数	2021年1月期2Q	269,734 株	2020年1月期	272,934 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期2Q	37,851,813 株	2020年1月期2Q	37,846,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社は、決算に関する説明(動画)及び説明資料について、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります。また、7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、家庭用ゲームソフト、ソーシャルゲームともにグローバル展開が主流となっており、多言語対応を前提としたデバッグ、ローカライズ（翻訳）、音声収録やカスタマーサポートの需要が増加しております。直近では、感染症拡大防止のためのいわゆる巣ごもり生活により、ゲーム市場は拡大傾向にあり、デイリーアクティブユーザー（DAU）も増加しております。

一方、ネットサポート事業の関連市場においては、政府によるキャッシュレス化の推進により、QRコード決済関連不正モニタリング、本人確認手続き（KYC）、アンチマネーロンダリング（AML）や振る舞い検知関連サービス等の需要が増加しております。また、デバッグ・検証事業同様、巣ごもり生活により、Eコマース（電子商取引）が拡大しており、規約違反の出品がないかのモニタリング、薬機法や景品表示法等に基づく広告審査、エンドユーザーからのお問い合わせ対応等の需要が増加しております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。市場において新たなサービスが創出されることにより、デバッグ・検証事業及びネットサポート事業ともにビジネスチャンスにつながっております。当第2四半期連結累計期間においては、当社ではゲーム開発・運営・パブリッシング等の共同事業を行い、収益分配を受けることを目的として、2月に株式会社ビジュアルイズと資本業務提携いたしました。ポルトゥウィン株式会社では、国内デバッグ・検証事業のサービス機能を整理・集約し、顧客企業に対するサービス力を向上させることを目的として、2月にポルトゥウィンネットワークス株式会社を吸収合併いたしました。PTW International Holdings Limited では国内顧客企業のグローバル展開を専門的に支援することを目的として、2月にPTWジャパン株式会社を設立いたしました。国内拠点と海外10ヵ国17拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、音声収録、ゲーム開発・マーケティング支援、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,399,500千円（前年同期比0.0%減）、営業利益は1,276,424千円（同20.8%減）、経常利益は1,474,675千円（同4.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は903,966千円（同5.3%減）となりました。なお、感染症による今後の影響については、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①デバッグ・検証事業

当事業におきましては、国内外グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）、音声収録等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスの受注拡大を推進いたしました。ゲーム市場では海外現地企業との取引が拡大し、ノンゲーム市場では第三者検証サービスの受注が増加いたしました。また、感染症拡大に起因し、一部顧客企業の業務について停止や後ろ倒しが発生いたしました。また、株式会社CRESTでは7月にSteam版「ARIA CHRONICLE - アリアクロニクル -」をリリース後2日で1万ダウンロード以上販売し、今後、ニンテンドースイッチ版で配信することも決定しております。なお、第1四半期連結累計期間よりPTWジャパン株式会社（2020年2月3日付で連結子会社ポルトゥウィン株式会社を分割会社とする新設分割により新規設立）及びエンタライズ株式会社の決算日を12月31日としたことにより、両社財務諸表の連結財務諸表に対する反映が2月から6月までの5か月間となっております。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は9,243,455千円（前年同期比1.3%減）、営業利益は1,090,897千円（同25.2%減）となりました。

②ネットサポート事業

当事業におきましては、QRコード決済や仮想通貨等のフィンテック関連サービスにおける不正モニタリング、本人確認手続き、アンチマネーロンダリングや振る舞い検知サービスの受注が増加いたしました。また、巣ごもり生活によるEコマース拡大により、Eコマースサイトにおける出品物モニタリング、商品やサービスに関する電話・メール・チャット・チャットボットによるカスタマーサポート（国内）等のアウトソーシングサービスの受注が増加いたしました。デバッグ・検証事業との営業連携により、ゲーム市場向けのカスタマーサポートの受注も増加いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は3,055,371千円（前年同期比4.7%増）、営業利益は227,837千円（同96.4%増）となりました。

③その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しておりますが、感染症拡大に起因し、映画の新規制作が停滞し受注が減少いたしました。アイメイド株式会社において、医療機関で働く外国人材のビザ取得や就学等、国内生活手続きをサポートするサービスを提供しております。この結果、当事業の売上高は100,672千円（前年同期比14.6%減）、営業損失は68,071千円（前年同期は2,524千円の損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

①資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて935,702千円（6.4%）増加し、15,641,030千円となりました。これは、主に現金及び預金が434,889千円、その他（未収入金等）が448,864千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて60,328千円（2.0%）増加し、3,118,847千円となりました。これは、主にのれんが155,195千円減少したものの、無形固定資産のその他（著作権等）が200,000千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて996,030千円（5.6%）増加し、18,759,878千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて901,506千円（28.6%）増加し、4,048,407千円となりました。これは、主に短期借入金494,624千円、未払費用が150,216千円、未払法人税等が247,535千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて46,398千円（15.7%）減少し、249,918千円となりました。これは、主に繰延税金負債が55,377千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて855,108千円（24.8%）増加し、4,298,326千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて140,922千円（1.0%）増加し、14,461,552千円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が111,109千円、為替換算調整勘定が162,697千円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が449,792千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、国内外にて感染症に関する非常事態宣言発出や都市封鎖等が行われ、当社グループにおいては、海外子会社では多くの業務をテレワークにて対応し、国内子会社では感染症拡大防止対策を行いながら業務を継続するとともに一部業務をテレワークにて対応いたしました。感染症拡大に起因する巣ごもり生活により増加した業務もありましたが、停止や後ろ倒しとなった業務もあり、第2四半期（累計）業績予想に対しては、売上高、利益とも未達成となりました。第3四半期以降については、顧客企業におけるゲーム、各種アプリケーションやアミューズメント機器等の開発遅延や中止により、当社グループにおいても業務受注の影響を受ける可能性があります。開発遅延に関しては、開発が再開されることにより当初計画より後ろ倒しで受注可能な見込みであります。一方、既存運営型ゲームコンテンツに関するデバッグやカスタマーサポート、EコマースやQRコード決済に関する不正モニタリング等の業務受注は堅調に推移していることから、証券取引所の定める適時開示基準に照らし合わせ、2020年3月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,514,170	10,949,060
受取手形及び売掛金	3,669,689	3,646,688
商品及び製品	8,009	7,012
仕掛品	63,797	145,395
その他	453,236	902,100
貸倒引当金	△3,575	△9,227
流動資産合計	14,705,328	15,641,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	878,691	888,933
減価償却累計額	△479,298	△503,027
建物及び構築物（純額）	399,393	385,905
機械装置及び運搬具	23,065	23,027
減価償却累計額	△14,180	△14,969
機械装置及び運搬具（純額）	8,884	8,057
工具、器具及び備品	1,470,181	1,515,643
減価償却累計額	△1,159,574	△1,199,712
工具、器具及び備品（純額）	310,606	315,931
有形固定資産合計	718,885	709,894
無形固定資産		
のれん	725,510	570,315
ソフトウェア	153,066	174,946
無形資産	27,229	3,592
その他	2,395	202,395
無形固定資産合計	908,202	951,249
投資その他の資産		
投資有価証券	587,131	592,202
敷金及び保証金	575,098	623,984
繰延税金資産	170,172	171,786
その他	175,423	176,424
貸倒引当金	△76,394	△106,694
投資その他の資産合計	1,431,432	1,457,703
固定資産合計	3,058,519	3,118,847
資産合計	17,763,847	18,759,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	10,299	504,924
1年内返済予定の長期借入金	6,536	7,620
未払金	1,725,334	1,687,197
未払費用	158,241	308,457
未払法人税等	387,666	635,202
賞与引当金	30,458	84,661
その他	828,363	820,344
流動負債合計	3,146,901	4,048,407
固定負債		
長期借入金	41,924	37,673
退職給付に係る負債	76,303	84,154
繰延税金負債	93,066	37,689
その他	85,022	90,401
固定負債合計	296,316	249,918
負債合計	3,443,217	4,298,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,237,674	1,237,800
資本剰余金	2,377,916	2,378,635
利益剰余金	10,706,356	11,156,148
自己株式	△169,686	△167,696
株主資本合計	14,152,260	14,604,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,869	52,759
為替換算調整勘定	△85,133	△247,830
その他の包括利益累計額合計	78,735	△195,071
非支配株主持分	89,633	51,735
純資産合計	14,320,629	14,461,552
負債純資産合計	17,763,847	18,759,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
売上高	12,402,196	12,399,500
売上原価	8,581,575	8,822,126
売上総利益	3,820,620	3,577,373
販売費及び一般管理費	2,208,511	2,300,948
営業利益	1,612,109	1,276,424
営業外収益		
為替差益	—	39,432
助成金収入	11,117	46,668
保険解約返戻金	1,393	106,643
その他	14,470	9,693
営業外収益合計	26,981	202,437
営業外費用		
支払利息	—	1,246
為替差損	86,202	—
持分法による投資損失	9,006	—
その他	1,552	2,939
営業外費用合計	96,761	4,186
経常利益	1,542,329	1,474,675
税金等調整前四半期純利益	1,542,329	1,474,675
法人税等	587,568	608,404
四半期純利益	954,761	866,270
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△37,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	954,761	903,966

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	954,761	866,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,185	△111,109
為替換算調整勘定	△40,540	△162,899
その他の包括利益合計	△39,354	△274,009
四半期包括利益	915,406	592,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915,406	630,159
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△37,897

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,542,329	1,474,675
減価償却費	167,723	175,900
のれん償却額	128,949	130,307
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,632	53,243
賞与引当金の増減額 (△は減少)	44,840	55,694
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,116	7,851
受取利息及び受取配当金	△1,445	△1,343
保険解約返戻金	—	△106,643
持分法による投資損益 (△は益)	9,006	—
支払利息	—	1,246
為替差損益 (△は益)	21,484	△390
売上債権の増減額 (△は増加)	△770,886	△77,973
未収入金の増減額 (△は増加)	355	△38,181
未払金の増減額 (△は減少)	170,455	△78,497
未払費用の増減額 (△は減少)	81,196	156,556
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,568	△31,763
預り金の増減額 (△は減少)	68,275	△150,034
その他	△20,965	△310,925
小計	1,433,500	1,259,724
利息及び配当金の受取額	1,211	505
利息の支払額	—	△889
法人税等の支払額	△429,186	△436,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005,525	823,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,854	△133,208
有形固定資産の売却による収入	1,818	—
無形固定資産の取得による支出	△12,776	△147,643
投資有価証券の取得による支出	△100,112	△185,907
貸付けによる支出	△14,518	△1,283
貸付金の回収による収入	15,695	5,961
敷金及び保証金の差入による支出	△34,498	△80,023
敷金及び保証金の回収による収入	8,522	4,353
その他	—	135,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,724	△402,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	494,644
長期借入金の返済による支出	—	△2,708
株式の発行による収入	—	252
配当金の支払額	△416,311	△454,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,311	38,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,329	△23,752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	294,159	434,889
現金及び現金同等物の期首残高	9,345,965	10,514,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,640,125	10,949,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,365,693	2,918,630	12,284,323	117,873	12,402,196	—	12,402,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,428	19,053	21,482	154	21,636	△21,636	—
計	9,368,122	2,937,683	12,305,805	118,027	12,423,833	△21,636	12,402,196
セグメント利益 又は損失(△)	1,459,230	116,004	1,575,235	△2,524	1,572,710	39,399	1,612,109

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額39,399千円には、セグメント間取引消去394,452千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△355,053千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,243,455	3,055,371	12,298,827	100,672	12,399,500	—	12,399,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97,307	97,307	—	97,307	△97,307	—
計	9,243,455	3,152,679	12,396,135	100,672	12,496,807	△97,307	12,399,500
セグメント利益 又は損失(△)	1,090,897	227,837	1,318,734	△68,071	1,250,662	25,761	1,276,424

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額25,761千円には、セグメント間取引消去366,514千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340,752千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。